

人身事故対策について

1. 令和元年度に整理された課題

令和元年度の第9回検討委員会において整理された人身事故の課題を以下に示す。

事故対策は、事故発生防止対策と事故発生時対応がある。事故発生時対応は、ある程度体制が確保できていると考えられ、**事故発生防止対策の強化を最優先とした**。令和2年2月に開催した関係者による意見交換会の結果、**多数への注意喚起、公園に入る前の対策、視覚的に分かりやすい注意喚起が必要**であると考えられた。また、**シカとの接し方や鹿せんべいの与え方など普及啓発の強化、パトロールにおける注意時の実効性担保の仕組み（例：腕章、公園ルール手帳、研修、委嘱状）が必要**と考えられた。

注意喚起・普及啓発においては、**観光客の特性に応じ、事故防止に必要な情報を、適切なタイミング、場所で、効果的に伝える必要がある**。このため、普及啓発の強化に向けた観点と対応を表1に整理した。

表 1 普及啓発の強化に向けた観点と対応の整理

観点	対応項目
(1) 誰を対象に	【直接】 ・奈良公園を訪れる観光客 ※外国人観光客については当面保留 ・シカによる人身事故リスクの認識が低い人（子ども、高齢者） 【間接】 ・観光ガイド、遠足や修学旅行等の引率者、宿泊施設の啓発
(2) どのような情報を	・奈良のシカの生態、リスク情報 ・人身事故を防ぐためのシカへの接し方
(3) いつ	・平時 ・事故多発時期（子育て期、発情期） ・観光客増加時期
(4) どこで	・入口対策：駅、電車、バス、バスターミナル、宿 ・公園内対策：動線上、公園内施設、事故多発箇所
(5) どのように	・見てもらいやすさ、わかりやすさ： 直感的な理解、キャッチコピー、イラスト、写真、動画 ・観光客が接する機会が多い媒体の選択： SNS、口コミサイト、リーフレット、チラシ、 デジタルサイネージ、直接注意、TV、新聞 ・啓発情報に接する機会の増加： 投稿・掲示頻度増加、パトロール人員強化 ・来訪者が理解できる言語（多言語化）

2. 人身事故対策の効果的な実施に向けての検討（令和2年度）

（1）公園内パトロールの役割分担

奈良公園事務所、奈良の鹿愛護会、奈良公園のシカ相談室、鹿サポーターズクラブによるパトロールの体制の現状を表2に整理した。現状では、各主体がそれぞれの主目的に合わせた視点を持ちながら、相互に連絡を取り合い、密に連携してパトロールを実施している。いずれの主体も、「シカの保護」「シカとの安全な関わり」という点について注意を行っている。これらを踏まえ、現在の人身事故対策を別紙に整理した。

表2 「奈良のシカ」の保護に関する現在の公園内パトロール実施者と現在の役割の整理

実施者	場 所	パトロール視点
奈良公園事務所 0742-22-0375	奈良公園 管理地	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園施設の点検 ● 不審物・不審者の確認 ● 危険行為者への注意喚起（声掛け） ● 公園来園者の案内
奈良の鹿愛護会 0742-22-2388	奈良公園・ 社寺境内地	<ul style="list-style-type: none"> ● 負傷・疾病シカの救出 ● シカが関係するトラブルの有無 ● 奈良公園の美化 ● 観光客等への注意喚起（声掛け）
奈良公園の シカ相談室 0742-26-7755	奈良公園・ 社寺境内地	<ul style="list-style-type: none"> ● 事故の未然防止の為の注意喚起（声掛け） <ul style="list-style-type: none"> ・シカに対し危険と思える行為をしている人 ・小さな子ども連れ、高齢者、犬を連れた人 ● 餌やりをしている人へ鹿せんべい以外は与えないようお願い
鹿サポーターズ クラブ 0742-93-8100	奈良公園・ 社寺境内地	<ul style="list-style-type: none"> ● シカの様子（様子がおかしい、ケガ、事故を目撃等）のチェック <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 異常があれば愛護会へ連絡 ● 事故の未然防止の為の注意喚起 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 声掛け・チラシを渡す ・観光客がシカに不用意に近づいていないか(発情期、出産期、子どもが1人である、ペット連れ)、 ・餌やりの仕方（せんべい以外の餌、じらし行為） ・手荷物への注意 ● 鹿が食べないようにゴミ拾い

参考：人身事故件数データ（令和3年2月28日時点）

令和3年2月28日現在、今年度人身事故発生件数は41件となっている（図1）。人身事故は全て日本人の事故であった。また、そのうちの重傷例（骨折等）は3件であった。重症例は9月～12月に鹿せんべい購入時や犬を連れて来た際に発生した。人間の視野の外側からシカに接触されたことで転倒するケースもあることから、当該時期には公園来訪時は周りに十分注意しながら行動する必要がある。

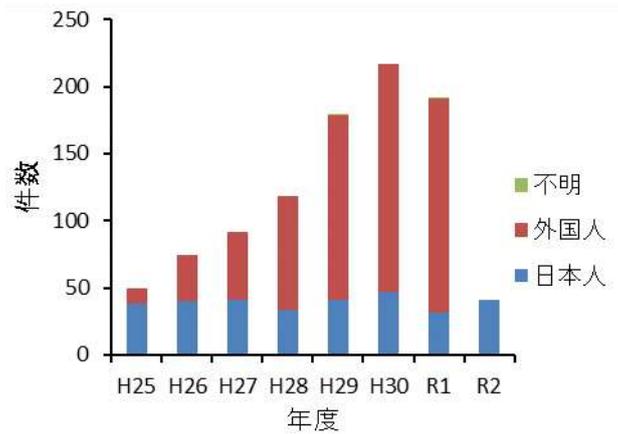


図1 人身事故件数の推移（出典：奈良公園のシカ相談室資料）

※令和2年度は令和3年2月28日までのデータ